

核兵器禁止条約・核兵器のない 平和で公正な世界のために 歴史の新たな一歩をふみだそう

国際会議 8月3日(木)～5日(土) 会場：広島市文化交流会館

国際会議は、国内外の反核平和運動のリーダーや、核兵器禁止実現に尽力する政府代表が一堂に会し、「核兵器のない世界」の実現へ熱い議論がおこなわれます。採択される「国際会議宣言」は、全世界に対して「核兵器のない世界」実現に向けた行動をよびかけます。今年の大会では、7月に国連会議で核兵器禁止条約が採択され、核兵器廃絶を実現するために何が求められるかについての議論が注目されます。核兵器をめぐる最先端の議論と運動が深くつかめます。若い世代の参加を期待します。



世界大会-広島 8月5日(土)～6日(日)

市民と海外代表の交流集会 8月5日(土) 18:30～20:30
●広島市文化交流会館・銀河

5日の交流集会では、海外から参加した青年を中心に、「核兵器のない平和で公正な世界」に向けて何をすべきか議論し交流します。

6日のヒロシマデー集会は、核兵器禁止条約採択から廃絶の実現へ、被爆者による訴えや文化企画など、「ヒロシマの思い」を世界に発信します。

ヒロシマデー集會 8月6日(日) 13:00～15:30(開場12:00)
●広島県立総合体育館・グリーンアリーナ

被爆72年ヒロシマデー とうろう流し
6日19:30～20:30基町河川公園

世界大会-長崎 8月7日(月)～9日(水)

開会総会 8月7日(月) 15:30～18:00(開場14:30)
会場：長崎市民会館体育館／文化ホール
「国際会議」の報告や、長崎市長や国連代表のあいさつ・発言など、2017年世界大会の特徴がつかめます。5月から全国でおこなわれた原水爆禁止国民平和大行進の通し行進者・国際青年リレー行進者がつどいます。



8月8日分科会は、右一覧を参照

閉会総会 8月9日(水) 10:30～13:00(会場9:30)
会場：長崎市民会館体育館／文化ホール
2017年世界大会のフィナーレを飾る集会です。長崎の被爆者の訴えや、全国や世界の草の根のとりくみが交流されます。未来を担う若者が中心のステージも計画中です。



●広島市平和記念式典
(8月6日8:00～8:45) 広島市主催 広島平和公園

●長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典
(8月9日10:35～11:43) 長崎市主催 長崎平和公園

長崎 8/8 9:30～15:00

魅力の いっぱい

フォーラム
分科会
うごく分科会



分科会
⑥ 核兵器と原発

東京電力福島第1原発事故から6年が経過するも一向に収束のめどが立たない中、原発の再稼働が相次いでいます。膨大な量の使用済み核燃料や核兵器の原料ともなるプルトニウムをどうするのかについても解決が迫られています。原子力エネルギー依存からの脱却をめざすとりくみを海外代表とともに交流します。

分科会
⑦ 軍事費とくらし・平和

安倍政権は、北朝鮮の「脅威」など、安全保障環境の悪化を理由に防衛費の増大をすすめています。他方で、教育費無償化のためには改憲が必要と述べ、保育充実や長時間労働の規制といった人びとのくらしをまもることに背を向けています。核兵器禁止をはじめとする平和の実現が、軍事費削減とくらし向上にいかなる展望を開くか、学びと交流を深めます。

分科会
⑧ 反核平和の文化

戦争の文化が共謀罪などさまざまな姿で私たちの生活の中に入り込もうとしています。いま、あらためて、反核平和の文化と被爆者のたたかいに学び、大いに意見交流しましょう。

分科会
⑨ 青年のひろば—被爆者訪問、学習と交流

「核兵器をなぜなくすべきか」その原点を学ぶ青年による青年のための分科会です。被爆者の方から直接、対話形式(少人数)や証言集の読み合せなどを通して、被爆者のメッセージを一人ひとりが受け取ります。グループワークで自分なりの受け止めや日頃のとりくみを交流し、核兵器をなくす展望を語り合います。核兵器禁止条約が採択される年に、いっそう重要となる被爆の実相を広め、次世代に継承することをめざします。

分科会
⑩ 映像のひろば

福島原発事故で被災したある農家の一家(父親は広島の被爆者)に焦点を当て、核兵器と原発の両方について考える「佐市の息子」、ロシアが投資する原発建設計画に反対するフィンランドの人たちを追う「ハンキヴィ・ワン」、1954年アメリカのビキニ水爆実験が日本社会にもたらした影響を記録した「永遠なる平和を—原水爆の惨禍—」を鑑賞し、交流します。

動く分科会

⑪ 佐世保基地調査行動

⑫ ナガサキの被爆遺構・碑めぐり

⑬ 少年少女平和のつどい

フォーラム
核兵器禁止条約の実現—政府とNGOの対話

7月7日に国連会議で核兵器禁止条約が採択されれば、「核兵器のない世界」に向けた新たな一歩がふみだされます。会議で条約づくりの先頭に立った国々の政府代表と反核平和運動の代表が、「核兵器のない世界」の実現に何が求められるか議論します。

分科会
① 核兵器禁止条約の実現—「ヒバクシャ国際署名」など草の根の運動の交流

7月7日に国連会議で核兵器禁止条約が採択されれば、「核兵器のない世界」に向けた新たな一歩がふみだされます。禁止から廃絶へ、草の根運動の役割がいっそう重要です。「ヒバクシャ国際署名」を軸に、草の根運動をどのようにとりくんでいくのかを焦点に討議・交流をおこないます。

分科会
② 非核平和のアジアと日本の役割

北朝鮮核問題の平和的解決が大きな課題となっています。アジアと世界の平和と安全のためにも核兵器禁止をどう実現するかについて、アジアの海外代表とともに意見を交わします。

分科会
③ 非核平和の自治体づくり

核兵器禁止条約採択の画期的意義を学び、非核平和の自治体づくりにどう生かすのか、自治体関係者を交えて討論・交流します。また、日本政府に核兵器禁止条約の調印を迫る国民的な世論を築くため、「ヒバクシャ国際署名」の自治体ぐるみ運動の前進をめざします。

分科会
④ 戦争法を廃止し、憲法生きる日本を

米軍主導の戦争に日本が参加できる国にしてしまう安保法制=戦争法はますます廃止の声が全国に広がっています。憲法施行70周年の今年、二度と戦争への道は歩まいと誓った憲法9条に基づく政治を取り戻すための共同について交流します。

分科会
⑤ 被爆体験の継承・実相普及と援護連帯

広島・長崎の被爆者による実相普及を焦点に、2017年の被爆者援護・連帯活動の在り方を学び、交流する分科会。被爆の実相に光をあて、交流することを重視します。「ヒバクシャ国際署名」が各地で被爆者とともに推進される中で、平和運動と被爆者の会と被爆者との日常的なつながりを強めること、支援のネットワークづくりがいっそう重要となっています。

※フォーラム・動く分科会は追加料金がかかります。 ※一部の分科会では開始・終了時間が異なります。